2011
Number
074

TAMA UNIVERSITY
# Rapport

現代の志塾 多摩大学

Rapport（ラポール）とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。
多摩大学広報紙「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐコミュニケーション紙です。

発行者　多摩大学　　発行日　2011年5月10日
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1　TEL:042-337-1111　FAX:042-337-7101
http://www.tama.ac.jp/

## Contents

**News**
平成23年度多摩大学入学式 開催　P.02

2010年度多摩キャンパス
学生満足度調査結果　P.03

特集　ゼミナール活動
村山ゼミ・松本ゼミ　P.04

地域プロジェクト発表祭
Report　経営情報学部父母懇談会開催　P.06

多摩学
村野四郎記念館（府中）　P.08

# News

## 平成 23 年度 多摩大学入学式 開催

4 月 5 日（火）10 時よりパルテノン多摩にて、平成 23 年度多摩大学入学式が開催されました。今年度の新入生は経営情報学部 353 名、グローバルスタディーズ学部 171 名の計 524 名。寺島学長は「日本が試練の時に皆さんは大学生としての生活をスタートさせた。大学とは断片的な知識を知性に変えて社会に出て行く準備期間。4 年間気合を入れて充実した日々を送ってもらいたい」と挨拶しました。経営情報学部の田中香穂さんとグローバルスタディーズ学部の今村満理奈さんは、新入生代表として大学生活への夢と期待を述べました。

寺島学長を前に挨拶のことばを述べる新入生

## 平成 22 年度 就活準備特訓塾 第 8 回 実施

経営情報学部 2 年生を対象とした平成 22 年度キャリア支援講座「就活準備特訓塾」の最終回が 1 月 8 日（土）に行われ、今回はグループディスカッションに取り組みました。議論の方向性がゴールから逸れてしまったり、話が堂々巡りをしてしまったり、なかなか思うように進むことができない様子。ディスカッション後は、オブザーバー役の学生が評価シートを元にフィードバックをしました。特訓塾では初めてのグループディスカッションでしたが、どの学生も積極的に意見を述べていました。今後は「企業からの視点」を意識することが課題となっていきます。

グループディスカッションをする学生たち

## リレー講座 2011 年春学期 開催

多摩大学寺島実郎監修リレー講座「現代世界解析講座Ⅳ」2011 年春学期が、4 月 21 日（木）から 7 月 14 日（木）まで多摩キャンパスにて開催されます。4 年目となる今年のタイトルは「21 世紀初頭の 10 年を超えて」。全 12 回行われる講座には寺島実郎学長、関志雄氏、金美徳多摩大学教授、クラコーフ ワシーリー氏、渡部恒雄氏、山内昌之氏、見城美枝子氏、米倉誠一郎氏、諸橋正幸多摩大学教授、堀田力氏など各界で活躍する方々を講師として、多摩大学学生及び一般の方々併せて約 550 名が受講します。

講義を行う寺島学長（昨年度のリレー講座から）

## 久恒啓一ゼミにて 就活面接対策特訓

1 月 13 日、久恒啓一ゼミでは 3 年生の就職活動における面接対策として、山形リコー・宮城リコーの社長を 16 年間務めた敏腕経営者である富田秀夫氏を外部講師に特訓を行いました。厳しい就活戦線が続く中、面接での印象は採用の合否に大きな影響を与えます。ドアをノックして面接の場に臨むところから実際に練習をしました。講師からは採用側の目線で厳しいアドバイスがあり、自分では気づかないお辞儀や歩き方の癖、声の調子などを徹底的にチェック。学生一人ひとりが身体で覚えるまで、講師の熱心なアドバイスは続きました。

講師から面接の特訓を受ける学生

## 体験型環境教育プロジェクトに 菅野ゼミが学生スタッフとして参加

2 月 27 日（日）、立川市の国営昭和記念公園花みどり文化センターにて、社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩による第 7 回体験型環境教育プロジェクト「それいけ！たまレンジャー！！」が開催されました。多摩地域の小学校 4 ～ 6 年生を対象にしたイベントで、環境問題に関心を持ち、将来地域の環境問題解決ができる人材の育成が目的です。小学生にはゲームやケナフの紙すきなど、体験を通して環境について考えてもらいました。菅野ゼミの学生も参加し、多摩地域の他大学生スタッフとともに生き生きと活動しました。

学生スタッフは小学生の環境体験をサポート

## 望月ゼミ 21 周年記念 シンポジウム 開催

1 月 12 日（水）16 時 30 分から多摩キャンパス 101 教室にて、ホープムーン・アカデミー（望月ゼミの OB 会）が協賛し、望月ゼミ 21 周年記念シンポジウムが開催されました。テーマは『クリエーティブ多摩大生』「人生の成功戦略に向けて、ゼミ生たちよ、勇気ある進路を取れ」。望月照彦教授は「豊かな経験を持つ OB から体験やノウハウを聞くことは厳しい就職戦線を戦う現役ゼミ生にとって、現実を乗り越える力となる」と話し、中田将来氏のキーノートスピーチ、奥村泰夫氏、白倉正子氏、坂西元氏ら OB からの貴重な体験談が語られました。

OB の貴重な体験談に聞き入る現役生たち

# 2010 年度 多摩大学多摩キャンパス 学生満足度調査結果

多摩キャンパスでは「学生サービス認識度調査」（アンケート）を実施し、皆様に満足していただける学生サービスの向上に努めております。
本年度「学生サービス認識度調査」の結果から、一部を抜粋してご紹介いたします。
※詳しくは多摩大学 HP より PDF ファイルをご参照ください。http：//www.tama.ac.jp/guide/satisfaction.html

アンケートでは学内で行っている学生向けサービスについて、「知っているもの」「利用したことのあるもの」「重要」それぞれ該当する項目全てに［○］をつけてもらいました。

## 学務部学生課　（回答数：411）

| 項　　目 | 知っている | 利用した | 重要 |
|---|---|---|---|
| ①運動施設利用 | 272 | 306 | 147 |
| ②開放用具貸し出し | 266 | 322 | 139 |
| ③奨学金等経済的支援 | 329 | 100 | 157 |
| ④各種証明書発行 | 292 | 188 | 172 |
| ⑤学園バス | 233 | 321 | 241 |
| ⑥教室貸し出し | 237 | 175 | 151 |
| ⑦課外活動支援・相談 | 229 | 54 | 103 |
| ⑧落し物 | 343 | 142 | 156 |
| ⑨アイデアボックス | 282 | 27 | 75 |
| ⑩バイク登録及び安全運転講習会 | 283 | 41 | 49 |
| ⑪よろず相談窓口 | 140 | 16 | 44 |
| ⑫アルコールパッチテスト | 248 | 120 | 46 |
| ⑬カウンセリング | 249 | 23 | 69 |
| ⑭医務室（病気、怪我、相談等） | 299 | 138 | 148 |
| ⑮学内保険対応（案内、手続き等） | 186 | 33 | 85 |
| ⑯各種セミナー | 247 | 94 | 113 |
| ⑰留学支援 | 318 | 25 | 95 |

## 学務部キャリア支援課　（回答数：396）

| 項　　目 | 知っている | 利用した | 重要 |
|---|---|---|---|
| ①【全学年対象】IT パスポート講座 | 303 | 64 | 111 |
| ②【全学年対象】簿記 3 級講座 | 322 | 32 | 110 |
| ③【全学年対象】秘書検定講座 | 260 | 19 | 94 |
| ④【2 年生対象】就職特訓塾 | 226 | 20 | 95 |
| ⑤【3 年生対象】インターンシップ | 304 | 54 | 140 |
| ⑥【3 年生対象】就職ガイダンス | 252 | 143 | 162 |
| ⑦【3 年生対象】学内合同企業説明会 | 280 | 72 | 157 |
| ⑧【3.4 年生対象】就職、進路相談、求人紹介 | 249 | 102 | 178 |
| ⑨【3.4 年生対象】履歴書、ES 添削 | 219 | 103 | 178 |
| ⑩【3.4 年生対象】就活関連図書、資料閲覧コーナー | 204 | 58 | 116 |
| ⑪【4 年生対象】学内合同企業説明会 | 244 | 60 | 138 |
| ⑫【4 年生対象】学外合同企業説明会引率、現地指導 | 191 | 32 | 109 |
| ⑬【4 年生対象】最新 & お薦め求人掲示コーナー | 177 | 20 | 95 |

## 学務部教務課　（回答数：423）

| 項　　目 | 知っている | 利用した | 重要 |
|---|---|---|---|
| ①カリキュラムに関する相談 | 264 | 109 | 145 |
| ②履修に関する相談 | 266 | 193 | 177 |
| ③休退学等学籍に関する相談 | 229 | 19 | 103 |
| ④ゼミに関する相談 | 217 | 42 | 112 |
| ⑤教育サポート室（旧秘書室） | 218 | 91 | 111 |
| ⑥オフィスアワー | 221 | 34 | 88 |
| ⑦ TOEIC 学内試験 | 297 | 91 | 127 |

## 学務部図書館事務課　（回答数：416）

| 項　　目 | 知っている | 利用した | 重要 |
|---|---|---|---|
| ①リクエストサービス | 268 | 39 | 116 |
| ② MyCARIN | 235 | 107 | 106 |
| ③図書館ガイダンス | 232 | 81 | 78 |
| ④レファレンスサービス | 201 | 41 | 69 |
| ⑤有料データベース | 221 | 102 | 101 |
| ⑥他大学相互協力サービス | 182 | 19 | 61 |
| ⑦携帯ホームページ（蔵書検索等） | 182 | 48 | 62 |

## 学務部メディアサービス事務課　（回答数：419）

| 項　　目 | 知っている | 利用した | 重要 |
|---|---|---|---|
| ① Gmail | 242 | 347 | 283 |
| ②ファイルシステム | 181 | 147 | 112 |
| ③印刷システム | 245 | 316 | 268 |
| ④ MSS ホームページによる情報公開 | 206 | 164 | 120 |
| ⑤学内ネットワークへの接続（VPN） | 239 | 257 | 220 |
| ⑥学生ページ掲載（サークル / ゼミ） | 234 | 134 | 105 |
| ⑦貸与パソコン取説刊行 | 224 | 97 | 75 |
| ⑧ MIC Newsletter 刊行 | 157 | 42 | 52 |
| ⑨ T-NEXT | 244 | 324 | 241 |
| ⑩ GoogleApps | 179 | 125 | 90 |
| ⑪ MOS 学内受験 | 204 | 37 | 85 |

## 総務部　（回答数：388）

| 項　　目 | 知っている | 利用した | 重要 |
|---|---|---|---|
| ①教室 | 213 | 325 | 245 |
| ②学食 | 229 | 353 | 239 |
| ③ Y ショップ | 227 | 360 | 286 |
| ④各種自動販売機 | 223 | 349 | 261 |
| ⑤アゴラ、コンビニ前、事務局前等ラウンジ | 239 | 320 | 206 |
| ⑥経済的支援（学費ローン） | 232 | 72 | 122 |
| ⑦バイク、自転車駐輪場 | 284 | 121 | 132 |
| ⑧コピー機 | 229 | 320 | 248 |
| ⑨サークル室等学生専用施設 | 237 | 168 | 146 |
| ⑩九段サテライト | 222 | 52 | 67 |
| ⑪喫煙所 | 283 | 127 | 122 |
| ⑫多摩大学ホームページ | 235 | 310 | 199 |

## 村山貞幸ホームゼミ　日本大好きプロジェクト　http://www.nippon-dai

# 「社会人基礎力育成グランプリ 2011」決勝大会で 大

2011 年 3 月 9 日（水）に日経ホールで開催された「社会人基礎力育成グランプリ 2011」（主催・経済産業省）で、村山ゼミ「日本大好きプロジェクト」は、見事大賞を受賞した。「社会人基礎力」とは、「職場や地域社会で活躍するために必要な基礎的な力」として経済産業省が提唱しているもの。地区予選大会には慶應義塾大学大学院、立命館大学、明治大学、立教大学、順天堂大学、東京外語大学、日本女子大学など 100 大学が参加した。決勝大会には予選大会を勝ち抜いた山形大学、神奈川工科大学、多摩大学、中京大学、京都産業大学、和歌山大学、広島経済大学、日本文理大学の 8 校が参加し、発表を行った。村山ゼミでは東京ミッドタウンで実施した「和紙キャンドル・ガーデン」を紹介、イベントの提案から開催まで諦めずに粘り強く活動を続けたことが高く評価された。

## 日本の伝統文化を多くの人に伝えたい。

村山ゼミ「日本大好きプロジェクト」は日本の伝統文化の伝承を目的とし、50 名強のゼミ生が工芸班（和紙漉き、藍染、竹細工）、茶道班（茶道、水墨画、投扇興）、武道班（空手）、文学班（紙芝居、俳句カルタ）、演劇・音楽班（狂言、影絵、和太鼓、三曲）、将棋班の 6 班に分かれて、目黒区などを中心に幼稚園や保育園、児童館、高齢者施設等で年間 150 回以上の訪問活動を実施している。またゼミ生有志が集客イベント班、広報班、Web 班などを兼任し、大イベントの企画や PR、Web による告知・報告まで行う。2010 年 9 月 18 日～26 日には、東京ミッドタウンで、「和紙キャンドル・ガーデン」の企画・運営を行った。外苑東通りからミッドタウン・ガーデンまで、「月見」をテーマに和紙キャンドルライト 1,800 個を灯し、「キャンドルロード」をつくりあげた。このイベントは集客イベント班の学生たちが東京ミッドタウンに企画を提案し、数十回企画の練り直しを行った結果、実現することができた。ゼミ生全員で半年かけて B5 サイズの和紙 5,000 枚を制作。広報班は新聞社や TV 局にリリースを送り、全ての媒体に断られながらも粘り続け、テレビ朝日、毎日新聞、読売新聞等に取り上げられた。Web でも告知し、またメディアによる反響も大きく、期間中 5,000 人をはるかに超える方々が来場する画期的なイベントとしてゼミ生たちの活動は実を結んだ。

### 大きな志を持つことで大変身！

多摩大学 教授　村山 貞幸

村山ゼミは、イベントの企画・運営を通じてビジネスのプロになる志とスキルを学ぶことを目的とし、厳しい活動を行っています。「変わる」をキャッチフレーズに、今までの自分に満足できない学生が、新しい自分、すなわちビジネスのプロに生まれ変わるべく、寝る間も惜しんでイベントに取り組んでいます。その結果、絶対に逃げずに諦めない粘り強さ、人前でも物おじせず、社会人とも平気で話せる度胸がつき、多くの学生が別人のように変貌していきます。

2010 年 6 月 10 日：日本空手協会の方の協力により大森双葉幼稚園で空手体験イベント。

2010 年 8 月：東京ミッドタウン「紙芝居×クラシック」イベントでは、紙芝居と生演奏の共演。

2010 年 9 月 18 日～ 26 日：東京ミッドタウン「キャンドルナイト・ガーデン」イベント。

isuki.jp/

# 賞受賞！

## 2010年度の主な活動内容

| | |
|---|---|
| 2010 4 | 増上寺、東京ミッドタウン企画 |
| 5 | パーシモンホール、増上寺、東京ミッドタウン企画 |
| 6 | パーシモンホール、増上寺リハーサル、東京ミッドタウン企画 |
| 7 | 増上寺七夕祭り<br>パーシモンホールホタル祭り |
| 8 | 東京ミッドタウン「紙芝居×クラシック」紙芝居と生演奏 |
| 9 | 東京ミッドタウン「キャンドルナイト・ガーデン」イベント |
| 10 | 中目黒公園祭り |
| 11 | 社会人基礎力育成GP関東地区予選<br>神明宮「和の創造 ～和紙キャンドルナイト・神明宮～」 |
| 12 | 1年生ゼミ内定者本格始動 |
| 2011 1 | とうきゅうキッズプログラム<br>「狂言方になってみよう！」 |
| 2 | 訪問イベント新企画開始 |
| 3/9 | 「社会人基礎力育成グランプリ2011」決勝大会で大賞受賞 |

上記はゼミ全体としての年間の主な活動内容。他にも年間を通して、訪問イベントの訪問先開拓と150回以上のイベントを実施している。

### 変わる自分

多摩大学 経営情報学部 3年　小川 哲弥

私はこの一年、常に前向きにゼミ活動に挑戦し続けてきました。東京ミッドタウンでの和紙キャンドルイベント中心メンバー、阿佐ヶ谷神明宮でのイベント運営プロデューサー。村山ゼミリーダー。挑戦し続けたのは、自分に危機感を感じていたからです。本当に自分はこのままで良いのか。そう自分に問い、たとえ辛い事でも挑戦してきました。気付けば挑戦を楽しみ、成長を楽しめる様になりました。今後も自分の成長も楽しみながら、活動を進めていきます！

2011年1月22日：演劇音楽班・工芸班合同であけぼの保育園では、和紙漉きと影絵を実施。

松本祐一EXゼミ　サンリオピューロランドの問題解決イベントの企画・運営

# サンリオピューロランドで イベント開催！

## 交流とたのしい思い出、そしてまた来て。

松本EXゼミでは2010年12月18日19時から21時まで、閉館後のサンリオピューロランドを利用して、「SANTAMAお宝探さナイト～夜のピューロで大冒険～」を開催した。多摩ニュータウン地域の大学生を対象とし、イベントのテーマは友情と絆。参加者には宝物探しのミッションを与え、終了後は軽食で交流会、協賛してくれた市内の企業や飲食店などはパンフレットで紹介した。イベントの目的は、参加者の交流を深め、Good Memoryを残してもらうことで、「ピューロランドのリピーターになる」「多摩市のことを知ってもらう」きっかけを作り出すこと。授業にはピューロランドの社員も参加し、28名のゼミ生たちは高・大学生約600名対象のアンケート調査やサンリオイベント「ダンスステージプロジェクト」でのスタッフ活動など、イベントの企画・運営に向けて準備を重ねてきた。参加者119名からイベント終了後に実施したアンケート調査では、満足度90.5%という成果を得ることができた。

### 戸惑いを成長の源に

多摩大学 准教授　松本 祐一

本ゼミではイベントの企画運営を通じて、集客施設のマーケティングと地域活性化の手法を学ぶ。ゼミは学生の自主運営が基本だ。2年目の今回は、昨年メンバーが前回の反省を活かし、新メンバーがフレッシュな発想を持ち込んだことによって、完成度の高いイベントを運営することができた。戸惑いながらも現場で実践することで成長していく学生たちを見守るのは楽しい。

### 課題解決イベントの企画・運営

多摩大学 経営情報学部 4年　和久井 大輔

サンリオピューロランドと産学共同でイベントを企画・運営するこの活動も今年で2年目。ゼミ長として昨年の経験を生かして、新たなる伝説を作ることに力を入れた。そんな挑戦し続けた1年間でメンバー全員ががんばり、やり遂げたことが何よりの成果だったと思う。また、地域の人とお話をする機会や地域のことを知ることで、多摩市を好きになるのも魅力の一つだ。

交流会のための軽食を準備する（写真上）
最後はイベント参加者全員で記念撮影（写真下）

# Project

## 2010 年度 地域活性化プロジェクト発表祭

共催：多摩大学経営情報学部・多摩大学地域活性化マネジメントセンター・多摩大学総合研究所

2011 年 2 月 15 日（火）10 時から 18 時まで多摩キャンパス 001 教室にて、「2010 年度 地域活性化プロジェクト発表祭」が開催された。自治体や企業、地域の方々を招き、プロジェクトの成果が発表された。多摩大学では地域活性化マネジメントセンターを中心に「プロジェクト型地域学習」を推進し、2010 年度は多摩地域を主なフィールドに 17 のプロジェクトが展開された。2 年目となる今年度の発表会は、学生による実行委員会が組織され運営が行われた。各プロジェクトの活動報告の発表に対しては、審査員による評価のほか会場でのツイッターによる評価も行われ、最優秀賞を受賞した Tamauni チームには、阿部裕行多摩市長より表彰状と多摩市の特産品が手渡された。

**〈審査員〉**

長島剛（多摩信用金庫価値創造事業部部長）、田畑恒平（㈱アサツーディ・ケイ、早稲田大学メディア文化研究所客員研究員）、渕上周平（㈱エンパブリック取締役）、諸橋正幸（多摩大学経営情報学部教授・地域活性化マネジメントセンター長）、菅野光公（多摩大学経営情報学部教授）
※順不同、敬称略

**〈審査結果〉**

**最優秀賞**

Tamauni（多摩市観光促進プロジェクト）

**優秀賞**

多摩市諏訪名店街近隣交流七夕フェスタ『七輪横丁』プロジェクト
サンリオピューロランドの課題解決イベントの企画・運営

**審査員特別賞**

多摩センター地区のシティセールス
多摩市オーラルヒストリー研究
地域活動連携 SNS の構築～公民連携ビジネスプランニング
多摩学研究
多摩市サイクルマップ作成プロジェクト

**ツイッター賞**

サンリオピューロランドの課題解決イベントの企画・運営

着物姿でプロジェクトの発表を行う多摩学研究チームの学生

阿部市長（右から 2 人目）、Tamauni の学生（左）と審査員

## ■ 参加プロジェクト一覧

| テーマ | パートナー・協力者 | 担当者 | 目的 |
|---|---|---|---|
| 湘南を世界モデルへ | 関係自治体、企業 | 望月照彦ホームゼミ | 『湘南』という広域イメージエリアを対象に、地域の誕生と特性の分析を通して、新たな創造的地域の研究を行う。 |
| 猪苗代観光開発研究 | 猪苗代観光協会副会長 小橋勝彦氏 | 浜田正幸ホームゼミ | 「猪苗代における観光に関する実態調査をすることにより、今後の観光促進策に資するものとする」という目標を達成する。 |
| 長野県赤沢観光開発研究 | 長野県上松町観光情報センター | 浜田正幸ホームゼミ | 赤沢自然休養林の森林セラピーの基地として認知度を上げ、長野県上松町の宿泊者数を増やす。 |
| 東京ヴェルディの地域活動支援 | 東京ヴェルディ 1969 フットボールクラブ㈱ | 久恒啓一ホームゼミ | 東京ヴェルディの多摩市サンクスマッチに多摩市民をより多く呼び込み、サンクスマッチの来場者数を増やすとともに、多摩市民のコミュニケーション能力を高める。 |
| 地域活動連携 SNS の構築 ～公民連携ビジネスプランニング | ㈱地域協働推進機構、多摩市市民活動支援課、京王電鉄、NPO 法人多摩子ども劇場、諏訪名店街、SeisekiSunMarche 実行委員会 | 片桐徹也 EX ゼミ | 大学（生）と地域活動団体をマッチングさせることによる主に多摩ニュータウン・桜ヶ丘地域の地域づくりに寄与していく。同時にそれを促すための SNS などの仕組みを構築する。併せて大学内にサービス・ラーニング促進の仕掛けを行う。 |
| 多摩市オーラルヒストリー研究 | 地元市民、企業、団体 | 久恒啓一ホームゼミ | 多摩地域に居住あるいは働いている方の生活意識をインタビューにより採取し、地域活動資料として残す。 |
| 多摩の手土産づくり支援 | 焼き物世代交流会、永山公民館 | 久恒啓一ホームゼミ | 多摩焼きをはじめとする多摩ニュータウンの手土産を開発し、その普及のための仕組みづくりを支援する。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 多摩観光ガイドブック作成<br>『多摩市のシティセールス』 | 多摩市 | 中庭光彦 EX ゼミ | 観光地として意識されていない多摩市を、学生の視点から調査し、魅力ある観光スポットを発掘し、近郊来街者にその魅力を知らせる。同時に、多摩市の観光プロモーション計画の構想レベルを策定する。 |
| サンリオピューロランドの課題解決イベントの企画・運営<br>『集客施設のマーケティング』 | ㈱サンリオエンターテイメント | 松本祐一 EX ゼミ | サンリオピューロランドの課題を発見、解決するイベントを運営し、施設と多摩の魅力を高める。 |
| 多摩うどん『ぽんぽこ』<br>うめゼミプロジェクト | 社会福祉法人時の会 | 梅澤佳子ホームゼミ | 多摩うどん「ぽんぽこ」の特徴を理解し、事業運営の問題を学びながら、店舗の持つ独自性を地域住民、近郊の人々に広く認知してもらう。さらに高齢化が進む聖ヶ丘エリア、シャッター街が進む聖ヶ丘商店街の活性化を目指す。 |
| 多摩市諏訪名店街近隣交流<br>七夕フェスタ『七輪横丁』プロジェクト | 多摩市諏訪５丁目諏訪名店街・七夕フェスタ実行委員会 | 梅澤佳子ホームゼミ | 諏訪名店街近隣交流七夕フェスタ開催を支援することによって、諏訪エリアの人的交流を図り、地域を活性化する。 |
| 多摩市サイクルマップ作成<br>プロジェクト | | 梅澤佳子ホームゼミ | サイクルマップを作成することにより、多摩市民のみならず近郊に住む人々に身近な自然、レジャー資源の豊かな多摩市を再認識してもらい、実際のレジャー活動につなげる。 |
| Tamauni<br>(多摩市観光促進プロジェクト) | 多摩市、<br>第６回せいせき多摩川花火大会実行委員会 | 野田稔ホームゼミ中心・<br>各ホームゼミ横断プロジェクト | 日頃、多摩大学で学んでいる経営学と IT を駆使して、多摩市の魅力を深め、新しい価値を生み、観光促進を図る。 |
| 多摩学研究 | | 寺島実郎インターゼミ・<br>多摩学チーム | 多摩学構築のため、学生研究の蓄積を行う。 |
| 多摩地域企業雇用調査 | 多摩信用金庫 | 志企業研究会 | 多摩地域の雇用・求人の実態を把握し、多摩地域における企業と人材のマッチングを図り、多摩地域の産業基盤を強化するための基礎資料とする。 |
| 多摩センター地区のシティセールス | 多摩大学総合研究所、<br>新都市センター開発㈱ | 酒井麻衣子ホームゼミ | 多摩センター地区の課題（既存イベントのテナント集客力、商業都市としてのブランドの不在等）を解決するシティセールスの仕組みを提案することで、多摩センター地区の活性化を促す。 |
| 地域活性化フォーラム | 内閣官房地域活性化統合事務局 | 地域活性化マネジメントセンター | 一握りのリーダー養成ではなく、学部学生を含む多様な地域活性化人材を養成する多摩大学の取り組みを広く紹介する。 |

## Report

### 2010 年度経営情報学部父母懇談会 開催

2011 年 3 月 6 日（日）、多摩キャンパスにおいて 2010 年度父母懇談会が開催されました。今回初めての試みとして多摩キャンパスにて開催された父母懇談会は、就職活動を開始している 3 年生の父母を対象とし、全体会と個別相談の 2 部構成で行われました。

全体会では、今泉 FD 委員長の挨拶と専任教員の紹介後、村松後援会長よりご挨拶をいただきました。諸橋学部長と池田学務部長からは、就職活動に対する全体状況と経営情報学部の状況説明がありました。全大会の後は 2 会場に分かれ、保護者の方々とゼミ担当教員・キャリア支援課職員による個別面談が行われました。

### 東日本大震災被災学生・院生への支援について

2011 年 4 月 14 日（木）多摩キャンパスにて、3 月 11 日に発災した東日本大震災の被災地を帰省先に持つ在学生に、教職員と後援会・同窓会からの募金による見舞金が諸橋経営情報学部長よりメッセージとともに手渡されました。同じく湘南キャンパスでは松林学部長、大学院では橋本研究科長より、対象となる学生・院生に見舞金が手渡されました。

## "多摩"人物紀行―― ④

多摩学 004

復元された旧府中尋常高等小学校（写真左）。小学校の1階に併設された詩人村野四郎記念館（写真中央上）。1959年（昭和34年）に刊行された詩集『亡羊記』（写真中央下）。村野四郎の生涯や作品などを解説したブックレット『詩人 村野四郎』（発行：府中市郷土の森博物館）（写真右）。

**村野四郎記念館**（府中市郷土の森博物館内）
東京都府中市南町 6-32
☎ 042-368-7921（代表）
開館時間 9:00 ～ 17:00
休館日：月曜（年間休館日カレンダーを参照）
観覧料：一般 200 円
http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
府中駅、府中本町駅、分倍河原駅から郷土の森総合体育館行バス「郷土の森正門前」下車

# 村野四郎記念館（府中市）

久恒　啓一　（多摩大学経営情報学部教授）
http://www.hisatune.net/

府中市郷土の森という広大な市民の憩いの場がある。博物館本館、たくさんの由緒ある古い民家群、旧府中町役場庁舎、旧府中郵便取扱所、そして桜の木、季節ごとの花々など、四季の移ろいと歴史に触れることができる大きな空間である。

この一角に旧府中尋常高等小学校の校舎が復元されている。教室には昔使われていた教科書などが展示されている、懐かしい空間である。この一階に詩人・村野四郎（1901–1975年）の記念館がある。この名前にあまり馴染みはなくても、「ぶんぶんぶん　はちがとぶ　おいけのまわりに　のばらがさいたよ　ぶんぶんぶん　はちがとぶ」という童謡や、卒業式でよく歌われる「巣立ちの歌」などの作詞者といえば少しイメージがわいてくる。府中市出身の村野は市内の小学校、中学校の校歌を6点作詞している。

武蔵野の土地に根ざす裕福な商家で、父の代には酒、食品、建築資材、舶来のスタンダード石油の特約店にもなっている。村野家には7人の男子がおり、四郎はその名の通り4男である。次郎は北原白秋門下の歌人（後に「香蘭」を主宰し、生涯歌作を続けた）、三郎は西条八十門下の詩人（独立後、商売の傍ら詩集を出す）、そして四郎は詩に関心があったのだが、三郎のつくる詩に圧倒されて仕方なしに俳句をやった。

少年四郎は、文学の道には進まず、1年目の受験では東京商科大学を失敗し、2年目で慶応義塾大学の経済学部に合格する。文学は好きではあったが、「文学で飯を食おうなどとは思ってもいなかった」と述懐している。大学では俳句の世界で頭角を現し、卒業の前年には処女歌集「罠」を自費出版している。部数は300部だったが、一冊も売れなかった。

大学時代を通じ、詩の病はますます高じたのだが、一方で自分の詩を護るためには確固とした防波堤が要るという確信を持った。仕事を持って、その上で誰からも邪魔されずに詩作を極めていこうという姿勢だった。その考え方が後の詩壇の先導者をつくった。関西の尼埼汽船に入社するが一ヶ月で帰郷し、理研コンツェルンの本部である理化学興業に入社している。

「精神のために詩を、肉体のために実業を」という考え方にもとづく長い二足のわらじの人生が始まる。このあたりの見通しと覚悟には感心させられる。文学者は文学にのめり込む生活破綻者が多いのだが、長期的に戦略的に生活と詩作を両立させる姿には感銘を覚える。村野は理研では、従業員300人規模の理研電具の社長にまでなるなど、実業にも注力している。そしてその生活基盤の上で詩作に励み、「現代詩の一頂点」（室生犀星）を極めていく。50代後半の1959年に刊行された「亡羊記」は、読売文学賞を受賞している。

60代半ばで、ようやく実業界から引退するが、その前あたりから村野は、芭蕉の存在に惹かれてゆく。それまで新即物主義や実存主義といった西欧の存在論を根拠に詩を追及してきたが、17世紀の後半の日本に芭蕉がいたことに大きなショックを受ける。芭蕉は神社仏閣に立ち寄ってはいるが、神や仏に帰依した作品はない。己の美意識だけを頼りに奥の細道をたどり、実存を生きた。村野も長い西欧遍歴を経て、また日本に回帰するのである。

「私は、はじめから、文学というものは実業による経済的な防波堤の内側でなすべきものと決めていた」。村野四郎は、その思いを日々の精進の中で遂げていった。実に見事な人生である。この人の生き方は、もっと研究する価値があると思う。

### Information

広報紙 Rapport へ皆様からご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。
ご連絡はメールまたはお葉書で広報までお願い致します。
E-mail：koho@tama.ac.jp

Rapport　Number.074

発　　行　多摩大学
東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL:042-337-1111　FAX:042-337-7101
印刷・編集　株式会社 インフォテック
発 行 日　2011年5月10日

http://www.tama.ac.jp/